**犬もいただく 2017 08 20**

**マタイ 15:21-28 牧師　安達均**

救い主イエスからの恵みと平安が皆様の心の中に豊かに注がれますように！

シャーロットヴィルで白人至上主義グループとそれに反対するグループの激しい衝突が起こった。それが起こったのは12日の土曜日だったが、それから一週間の間に、事件に対するトランプ大統領の発言と、それに反応する多くの人々のコメントがニュースで報道された。　  
今日のマタイ福音書は、考え方や人種が異なる人々に、神がどうかかわってくださっているか、また教会に集う者として、くりかえされる人種差別にかかわる問題にどうかかわるかを考えさせてくれる。

みなさん今日の聖書箇所を聞いていて、イエスの弟子たちの態度をどう思われるだろうか？　そしてイエスが語った言葉にしても、どう思われるだろうか？　福音書のストーリを振り返ってまいりたい。

娘がたいへんな病に侵されている異邦人の母親が、イエスの治癒力をどこかで聞きつけ、それにあやかりたいと思ってやってきたのだろう。　ところが、弟子たちの態度は、いったいなんだというのか。

弟子たちは、イエスに「この女を追い払って欲しい。」とお願いしている。　現代風に言うならば人種差別もはなはだしい。しかも、イエスは弟子たちを叱るどころか、弟子たちの意見に同調しているようでもある。

ここで注意しなければならないと思うことは、私たちの21世紀に生きる常識から判断して、弟子やイエスの言葉をあれこれ評価するべきではないのかと思う。ぜひ2000年前のユダヤ人の常識はどうだったかを思いながら考える必要があると思う。

イエスがこの異邦人の女性に語った言葉は、「わたしはユダヤ人の中の迷える羊、つまり困っているユダヤ人を助けるために遣わされており、小犬のような異邦人までも助けるわけにはいかない。」という。　現代的な考えからすればイエス様がこんなことを言うのか、信じられないかもしれない。

しかし、現代こそ人種差別主義者を根絶すべきだという社会的風潮はあるものの、当時のユダヤ社会に住んできた弟子たちにとっては、ユダヤ人は選民なのである。　なので、イエスが当時のユダヤ人の弟子たちの常識の中で依頼してきた内容に対して、このような態度を取ったのは、当然だったのかもしれない。

それが証拠に、現代の私たちからすれば、ちょっとひどいのではないかと思われるイエスの言葉に対して、女性はイエスに不快感を表わしていない。それどころか、さらにへりくだって、イエスを「主よ」と呼びつづけ、「ごもっともです。」と述べている。　そして、びっくりしたことに「小犬でもテーブルに座っているユダヤ人たちがこぼしたパン屑をいただきます。」と応答した。

なんという謙虚さと信仰心かと思う。弟子たちの中でさえもイエスを疑うものがいたが、この女性はぜんぜん疑うことなく、イエスに全信頼をおき、自分はイエスから「小犬」だといわれるままを受け入れている。　そして、「小犬でもパン屑、自分たちは、恵みのおこぼれでも、喜んで頂戴いたします。」と語って女性はイエスへの信仰心をぶつけた。

ここで、イエスは大きく態度を変える。　この女性の信仰こそ本物だとして、イエスは異邦人女性の娘を癒される。　弟子たちと同じような、まるで人種差別主義者であるかのごとくの態度をとったかにみえたユダヤ人の人間イエスがいたが、信仰心にあふれる異邦人女性とその娘の存在をしっかり憐れみ、癒される主なるイエスがそこにいた。

イエスはユダヤに生まれ、ユダヤ人たちとともに生きていた。しかし、その本質はユダヤ人の常識とは全く異なる面も持っていて、異邦人とユダヤ人の境を大きく越えるお方だった。また、キリストを信じるようになる者は、ユダヤ人だけではないということが、すでにここで明らかになっていた。

聖書の中には、ヨハネ福音書4 章に出てきた、井戸端でイエスに出会うサマリア人にしても、イエスの死と復活後、使徒言行録8章に出ていた、エジプト人の宦官にしても、ユダヤ人ではない異邦人が、しっかり信仰を表明した。

異邦人も、イエスキリストを信じて神の愛は豊かに注がれ、キリスト教会ははじまった。使徒言行録では初代キリスト教会のリーダたちがエルサレムで会議をして異邦人も救われるのだという話が出てくる。

だから会議の結果、異邦人に伝道するようになったかと思われがちだが、異邦人の中に、最初から見事な信仰が生まれてきて、ユダヤ人リーダたちを変えていったことを覚えておきたい。

今日の聖書は、カナンの女性の信仰は、神の意思にはそぐわない誤った常識や風潮を完全に覆す力があったことを、教えてくれている。

信仰が社会を変化させて行く大きな力があることを、現代にあっても、今一度認識したい。　シャーロットビルで起こった衝突、くりかえし起こる人種にかかわる見解の異なる人々の間で、いまや20億人ともいわれるキリスト信仰者が、カナンの女性のような、イエスへのへりくだりと、全幅のイエスへの信頼をもとに行動できますように。信仰の力、神の思いにそぐわない、世の偏見、先入観、人種差別が是正されていきますように。　　アーメン